令和5年度　学校目標

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①基礎的・基本的な知識・技術の習得と、総合学科の教育システムを実現するための教育課程の編成を推進するとともに、組織的な授業改善に取り組む。	①新カリキュラムに基づき、昨年度実践した内容を踏まえ、新カリキュラムの必修科目・系列科目・選択科目について指導を行う。 ②多様な学びの場を提供するとともに、参加する生徒の姿勢や意欲を向上させるための指導を行う。	①引き続き単元計画の作成を通して、新カリキュラムの科目の指導内容および、学習評価の在り方について具体的に検討する。昨年度発足したＷＧの活動と連携し、よりよい授業づくりを推進する。 ②生徒の確実な単位修得に繋がる指導に取り組む。また、情報の提供を行い生徒の興味を促す。	①新カリ完全移行に向けて、本校生徒の実態を踏まえた学習内容の検討及び実践ができたか。 ①今年度導入予定のツールを利用した効果的な授業実践が行えたか。 ①学習評価の在り方について共有検討を促すことができたか。 ②学校外活動での単位修得が推進できたか。
2	生徒指導・支援	①基本的な生活習慣・規範意識の涵養、部活動の活性化など、学校生活の充実を図る。 ②関係機関と連携した教育相談体制を推進させる。	①基本的生活習慣を身に着けられるよう、様々な場面での指導を行い、規範意識を高める。 生徒が学校行事等や生徒会活動、生徒委員会活動、部活動等を通じて充実した学校生活を送る中で、社会の一員として必要な資質・能力を育成する。 ②ＳＣ、ＳＳＷとのさらなる連携による教育相談体制作りを推進する。状況に応じ、外部機関との連携を図る。 ③外国につながりのある生徒への支援を行う。	①職員が共通認識を持ち、授業、学校生活、学校行事等を通じ、あらゆる場面での生徒支援を行う。 学校行事等や生徒会活動、生徒委員会活動、部活動を通じて各々の個性を生かして活躍できる機会をつくれたか。 ②教職員が研修等を通じて、教育相談やいじめについての理解を深め、生徒・保護者が安心して学校生活を送れるように支援する。 ③外国につながりのある生徒の状況を共有し、組織的な支援を行う。 ③組織的な支援を行える体制を検討する。	①生徒が自分から考えて行動し、けじめある生活習慣を身につけられたか。 学校行事等や生徒会活動、生徒委員会活動、部活動を通じて活躍できる場をつくれたか。 ②職員研修を行い、教育相談やいじめへの理解を深め、問題や悩みを抱える生徒・保護者の解決につなげられたか。 ③外国につながりのある生徒の日本語習得と進路支援ができたか。 ③よりよい支援体制が構築できたか。

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
３	進路指導・支援	①キャリアガイダンスの実施内容の更なる充実に向けた検討と生徒の主体的な進路実現への支援を推し進める。	①「キャリア教育実践プログラム」の見直しを引き続き検討する。 ②自ら考え行動できるような主体的な姿勢で希望進路の実現に向かっていけるよう支援する。	①「未来探索ⅠⅡⅢ」の学習内容を様々な方法で恒常的に見直す。 ②卒業後の進路を踏まえ、適切で計画的な履修指導やキャリアカウンセリングを行う。また、家庭と学校が連携して生徒の支援を行えるような方法を検討する。	①「未来探索ⅠⅡⅢ」の取り組みに対し、方法を工夫しながら恒常的に改善を加えることができたか。 ②履修指導やキャリアカウンセリングが適切に計画的に行われたか。保護者への進路情報の提供が、適切に行われたか。
４	地域等との協働	①地域との連携を密にし、外部の教育力を活用する。 ②ＰＴＡとの協働による教育活動を、より発展させる。	①学校行事や授業を通じ、生徒が地域と交流し、積極的に社会に寄与する意欲や態度を育む。 ②ＰＴＡとの協働の機会を増やし、行事を充実させ、生徒の満足度を高める。	①学校行事や授業を通じ、生徒が地域と交流する機会を設ける。 ②行事や式典へのＰＴＡ参加を増やし、生徒と保護者が関わる機会を増やす。	①生徒が地域と交流し、積極的に社会に寄与する意欲や態度が育ったか。 ②ＰＴＡや保護者がどのくらい学校行事に参加し協働することができたか。
５	学校管理 学校運営	①学校運営協議会の活動を、教育活動などとリンクさせる。 ②教職員一人ひとりに事故・不祥事防止を常に意識させるとともに、教員としての資質や指導力向上のため、学び合う組織を目指す。 ③働き方改革を取り入れた業務遂行を実践する。	①学校運営協議会や地域の教育活力と協働した学校運営を行う。 ②業務効率の向上と事故・不祥事防止を一体としてとらえて業務改善を推進する。 ③教育の情報化を推進し業務効率を向上させる。	①学校行事や課題研究発表会を関係者に公開し、本校の取組の意見聴取を行う。 ②成績処理、調査書作成等の手順確認を不祥事防止研修と位置づける。 ③校務ネットワークを整理して、職員間で業務情報の共有を図る。	①設置部会との協働による地域交流や外国人生徒支援を行ったか。 ②マニュアルを検証し、課題の共有が図られたか。 ③グループ業務のマニュアル化を推進し、職員が閲覧できるよう整理されたか。